



第2回 大規模災害対策現地勉強会

1. 実施概要

開催日時

2009年（平成21年）12月6日（日）～8日（火） 2泊3日

開催会場

新潟県（旧山古志村、柏崎市、新潟市、佐渡島）

主な内容

- ① 12月6日（日）～7日（月） 新潟県中越大震災後の復興状況とその取り組みに関する調査
 - ・ 新潟県中越大震災（2004年10月23日 M6.8）から5年が経過し、今年度記念式典が新潟県各地で計画されている（11月16日中越国際シンポジウム他）。地震の被災地かつ地震防災等の危機管理に関する先進県である新潟県の取り組みについて学ぶ。
- ② 12月7日（月） 災害対策に関する講演会（河田理事長基調講演）
 - ・ 講師：河田恵昭（CDR理事長、関西大学理事・教授、京都大学名誉教授）
 - ・ 演題：『これからの水害と高波災害』
 - ・ 会場：新潟県警察本部大会議室
- ③ 12月8日（火） 佐渡島寄り回り波による漁港被害状況調査
 - ・ 2008年2月23～24日にかけて、強い冬型の低気圧により北日本から西日本にかけての日本海側に激しい高波浪が発生し、特に、新潟県と富山県で漁港施設・漁港海岸保全施設の被災や越波等による漁船や背後の家屋の被災、死者・負傷者が生じる惨事となった。この災害は、北海道西方沖で低気圧が停滞し、長時間にわたって強い風が吹き続けたことなどの特殊な気象条件により、富山などでは「寄り回り波」ともいわれるうねり性の波浪が卓越し、通常とは違った複雑な高波浪が発生したことに起因すると考えられている。これらの被災状況ならびに復旧対策について調査する。

2. 行程

●12月6日（日）

※大阪空港 9:30 発（ANA513）→新潟空港 10:30 着

※名古屋空港 7:40 発（JAL4331）→新潟空港 8:30 着

11:00 新潟空港集合



大型バスで長岡へ移動

（東京組：ホテルニューグリーン（長岡駅前）12:30 集合）



12:30～13:15 昼食



13:25～13:30 長岡地域振興局（平成16年新潟県中越地震被災地視察開始）



13:50～14:05 長岡市妙見地区（一般県道小千谷長岡線大規模崩壊）



14:35～14:50 旧山古志村油夫地区（大規模崩落油夫川河道閉塞）



14:55～15:05 旧山古志村羽黒トンネル（羽黒トンネル閉塞）



15:20～15:35 旧山古志村寺野地区（大規模崩落芋川河道閉塞）



15:50～16:05 旧山古志村檜木地区（大規模崩落芋川河道閉塞）





↓
16:10～16:25 旧山古志村木籠地区（大規模崩落芋川河道閉塞）
↓
16:30～16:45 旧山古志村東竹沢地区（大規模崩落芋川河道閉塞）
↓
17:30 柏崎市内宿舎（宿泊）

●12月7日(月)

08:30 柏崎市内視察
↓
8:45～9:00 学校町応急仮設住宅
↓
9:15～9:30 えんま通商店街
↓
9:30 柏崎市出発
↓
11:15～11:45 新潟県庁（新潟県災害対策センター視察）
↓
12:00～13:00 （昼食休憩）
↓
13:15～14:15 災害対策に関する講演会（河田恵昭理事長 基調講演）
会場：新潟県警察本部大会議室
演題：『これからの水害と高波災害』
14:30 新潟県庁出発
↓
15:00 新潟港着
15:20～16:20 ジェットfoil（またはカーフェリー16:00～18:30）
16:20 両津港着
↓
17:30 頃 佐渡市内宿泊

●12月8日(火)

8:00 宿出発
↓
8:15 佐渡地域振興局港湾空港庁舎

9:00～10:30 水津漁港（寄り回り波被災状況・対策状況）
↓
11:30～14:00 佐渡島史跡視察（昼食含む）
↓
15:00 両津港着
15:30～16:30 ジェットfoil
16:30 新潟港着・解散
※ 18:50 新潟空港発（JAC2250）→20:10 大阪空港着
※ 19:30 新潟空港発（JAL4338）→20:25 名古屋空港着
※ 17:38 新潟駅発（新幹線 MA とき 317）→20:00 東京着